

令和5年6月27日

6年保護者の皆様

江戸川区立南葛西第二小学校
校長 高橋 徹
(生活指導部)

卒業式における服装について

日頃から本校の教育にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、時期的に早いと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、今年度以降の「卒業式における服装」について、本校としての考え方をお伝えしますので、以下の通りご配慮くださるようお願いいたします。

なお、区内でも「華美な服装がエスカレートしている」として、校長会で話題に上っています。

卒業式は、学習指導要領で、儀式的行事(=授業)として位置付けられ、保護者や地域の方にもご臨席いただきながら、児童一人一人に小学校6年間の教育課程を全て終了した証である卒業証書を授与するとともに、新たな決意で次の中学校生活への希望や意欲を持てるように動機付けを図る授業です。

したがって、日頃の授業同様、服装については、儀式的行事にふさわしい服装であるとともに、「華美でないもの」「児童自身で管理できるもの」であることが求められます。

過日、区内小学校の周年記念行事に参列し、最高学年である6年生の立ち居振る舞いや、服装などを拝見しましたが、とてもシンプルで、上が白、下が黒系のもので全員がまとめられ、質素で質実、立派な態度で式典行事にふさわしい姿でした。

卒業式も同じで、派手な服装は不必要です。当日の服装は、式に臨むのにふさわしい、白い襟付きのシャツやブラウスに上着、ズボンまたはスカートという清楚な服装で臨むようにしてください。成長期であることを考え、その日一日しか着られないスーツ・袴などを新調する必要はありません。また、女子のスカートについては、体育館の壇上で深いお辞儀をするときに、後ろの裾を気にしなくてよい丈の長さやズボンにするなどご配慮ください。

また袴については、最近、各家庭にダイレクトメールが届くなど、宣伝が目立つようになっており、着せてやりたいという気持ちを煽る傾向にあります。しかしながら、ただでさえ緊張する式前や式中に、服装を自分自身で管理できず、不自由な思いをして具合が悪くなったり、トイレで短時間に用を済ませることが難しかったりと、結局、お子さん本人が困ることになります。

学校としては、小学校生活の最後にあたり、安心して式に臨み、最高学年にふさわしい立派な態度で目立ってほしいと考えます。そのことから、本校では卒業式のお子さんの袴着用はご遠慮いただきたいと思います。

以上、卒業を迎える全ての児童にとって、質素で清楚ながらも有意義な卒業式を迎えられるよう、改めてご理解・ご協力をお願いします。